

## ○ 陸上無線通信委員会での検討に向けた作業班における対応について

### ■経緯

- ・ 2月22日から3月23日までの間、空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件（委員会報告案）に対する意見募集を実施。
- ・ 提出された意見に対する考え方及び委員会報告案について、第56回陸上無線通信委員会（メール開催4/20～4/24）において検討。
- ・ 委員会において、構成員から報告書への説明の追記や表現の変更に関する意見が提出。
- ・ 委員会構成員からの意見を踏まえ、報告書への追記案、委員会構成員意見への回答案について、作業班での検討を経た上で、再度陸上無線通信委員会において検討。  
※本日公布の報告書案は、第56回陸上無線通信委員会で配布したものに見え消しにて追記等したもの。

### ■本日の主な検討ポイント

#### (1) 報告書案の追記・変更案について

- 不要発射の強度の許容値の考え方の追記【森川構成員】
  - ・ 許容値導出の考え方に関する内容の報告書への記載が漏れており、陸上無線通信委員会の場において検討するための材料が欠けているため、報告書への記載内容について作業班での検討が必要。
  - ・ 不要発射の許容値自体については既に検討が完了していることから、検討の対象はその導出の考え方に関する記載について。
- 空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの基本的な考え方の追記【河野構成員】
- 送信環境への送信認知者等に関する説明の追記【河野構成員】
- 人体検出の具体的な方法の考え方の追記【三次構成員】
- 5.7GHz帯に設置条件を設けない理由の追記【日野岳構成員】

#### (2) 陸上無線通信委員会構成員意見への回答案について

- 委員会構成員意見への回答案（表中の緑色及び橙色のセル）について